

2014年 5月

ASEANへの外国直接投資（FDI） - 重要な調査結果

【シンガポール】今月初めに世界銀行が発表した「東アジア・大洋州地域半期経済報告」によると、東南アジアの途上国は、外国資本による出資比率上限を引き上げればFDI流入が増え、これまで以上に経済的利益を得るとされています。対国内総生産（GDP）比FDI流入では、アジア太平洋地域の中で最大の受入地域がASEANです。1952年から2012年までにシンガポールが受け入れたFDIは、ASEAN地域全体へのFDI総額の半分以上（52%）を占めます。2番目に多かったのはタイで13%、それにインドネシアの11%、マレーシアの10%、ベトナムの8%、フィリピンの3%が続きます。

ASEANへのFDI主要投資国は、過去から欧州連合（EU）、日本、米国です。特に、EUからの投資はFDI総額の25%を占め、日本の13%、米国の11%がそれに続きます。ASEAN域内でのFDIが急速に増加し、シンガポールが域内FDIの主要投資国となっている一方で、米国からのFDI流入が相対的に減少してきていることは注目に値します。 [詳細はこちら](#)
出典：ASEANブリーフィング

シンガポールが世界第2位の人民元決済センターとなり、ASEANでの人民元の存在感が強まる

【シンガポール】シンガポールは人民元決済センターとして世界第2位の地位を取り戻しました。これを上回る市場シェアを有するのは香港だけです。また、3月の人民元建て国際送金の6.8%がシンガポール経由で行われました。全体に占める香港のシェアは72.8%、ロンドンが5.9%でした。決済センターは国際貿易には不可欠であり、国際間での銀行支払義務を履行するために利用されています。

シンガポールは2011年6月に中国国外初の人民元決済センターとなり、香港とともに中国通貨の世界第二大決済センターとなりました。これによりシンガポールは、中国企業が東南アジア、特にASEAN地域との貿易関係を開拓するためのハブ拠点となりました。2013年3月以降、シンガポールで決済された人民元の増加率は375%に達し、ロンドンの203%を上回りました。世界第2位の地位は、2012年6月以降ロンドンに奪われていましたが、2014年2月 - 3月にシンガポールが再び奪い返しました。

[詳細はこちら](#)

出典：ASEANブリーフィング



ASEAN産業界の主な動き

他のニュースは、 [こちら](#) から

ASEAN

14/05/03 ザ・スター [5カ国の成長見通しは微増](#)
14/04/28 ネーション [成長及び収益見通しを楽観視する](#)
[東南アジアのCFOは昨年よりも減少](#)



カンボジア

14/04/25 カボヅァデー [中国自動車メーカー、現地組立工場に注目](#)



インドネシア

14/05/07 ジャカルタ・ポスト [政府、工業生産目標を下方修正](#)
14/05/06 ビズ・インド 初 [インドネシアからのEU向け木材輸出増加](#)



マレーシア

14/05/02 エッジ [世界の財・サービス生産90兆ドルの半分を占めるのは低・中所得国](#)
14/04/30 エッジ [3月の国内PPIは3.6%アップの129.6%に](#)



ミャンマー

14/04/28 ミヤマー・タイムズ [銀行制度の問題が、海外との取引を阻む](#)
14/04/28 ミヤマー・タイムズ [製造業躍進で、FDIが40億ドルを越す](#)



フィリピン

14/05/04 ASEANブリーフィング [フィリピン、グローバル映画製作業界に減税措置](#)



シンガポール

14/05/02 シンガポール・ビジネスレビュー [製造部門、第1四半期の新規雇用を1,200人削減](#)
14/04/29 チャナリ・ニュース・アジア [シンガポール経済におけるサービス部門の役割が増大](#)



タイ

14/05/04 ASEANブリーフィング [研究開発に減税措置](#)
15/05/03 バンコクポスト [中小企業の将来的見通しは悲観的](#)



ベトナム

14/05/02 ベトナム・イバスター・レビュー [ベトナム、携帯電話輸出により年初からの4カ月で7億ドルの収益](#)
14/05/01 ベトナム・ネット [企業の99.9%は極小企業](#)

2014年 5月

最新のカントリーリスク



特集：シンガポールの
カントリーリスク

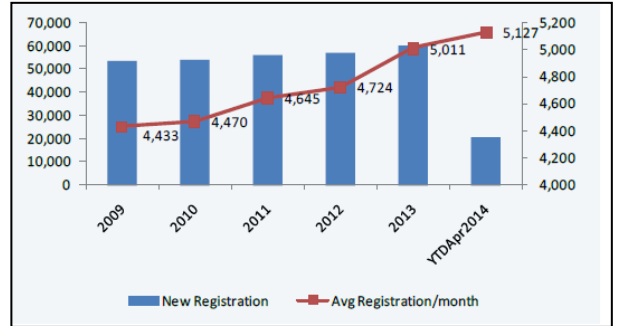
産業活動は引き続き緩やかに成長

3月、シンガポールは引き続き緩やかな成長を記録しました。購買担当者指数（PMI）データは、3カ月連続で50.0超えのゾーンにとどまりました。2月から0.1ポイント減とわずかながら下げたものの、PMIは50.8という水準を保ちました。さらに、電子機器部門（間違いなくシンガポール経済の最重要セクター）のPMIは、3月に0.4ポイント増の51.6となりました。

電子機器部門は14カ月連続で成長拡大を続けており、最近のシンガポールで相次ぐ喜ばしい驚きが更にもう一つ加わる形となりました。具体的にみると、第4四半期の実質GDP成長は、通商産業省の当初の予測を上回りました。第4四半期の最終的な実質GDPの数字は、2013年の年間成長率を4.0%に押し上げました。予想以上に好調な経済成長に加え、最近ではインフレ率が低下しています。2月の消費者物価インフレ率は前年同月比0.4%増で、過去4年間の最低水準にまで抑制されました。強含みの経済成長と、低インフレ環境は、シンガポールにとって短期的には明るい材料となります。



■シンガポールでは新会社が右肩上がり増加



シンガポールにおける新会社登録件数は、2009年からの4年間、増加の一途をたどっています。シンガポールの新会社登録件数の増加率が最も大きかったのは2013年で、2012年から6.08%増という著しい伸びを記録しました。政府援助による資金調達支援が増え、中小企業（SME）が様々な資金調達源を利用しやすくなったことにより、新会社登録件数が増えています。これは今後のシンガポール経済にとって明るい兆しとなっています。2014年1月から4月までのシンガポールにおける新会社登録件数は、前年の同時期には約20,044件だったのに対して、すでに合計20,508社を記録しています。今年1月から4月までの新会社登録件数は、2009年の新会社登録件数の約38.6%に相当します。

この兆候は、SMEセクターを活性化しようとするシンガポール政府の企業寄りの政策と共に、確実に明るい材料となります。今年3月初めに、政府は、SMEへのエクイティファイナンス/民間投資を促すために、1億5千万ドルの追加拠出を決めました。この追加資本は、2つの基金に割り当てられます。ひとつは「SME共同投資基金II」で、これは企業に対して、プライベート・エクイティ投資会社と共同で政府支援による直接出資（エクイティ・ファイナンス）を行う形で、支援機能を果たすものです。もうひとつは「SMEメザニン成長基金」で、これは株式の希薄化は望まないものの従来型の銀行からの借入による資金調達（デット・ファイナンス）が困難であるSMEを対象とした、ハイブリッド型のデット・エクイティ・ファイナンスというオプションを提供するものです。登記から3年未満の企業を対象とした、SPRING（規格生産性革新庁）のマイクロ・ローン・プログラムも拡充され、政府のリスクシェアが50%から70%に引き上げられました。

関連記事：

[2014年度予算：シンガポール企業の資金調達支援の拡大](#)
出典：アジア・ワン

[2014年度予算：企業向け施策](#)
出典：シンガポール政府

2014年 5月

ASEAN地域のニュース

インドネシア

| | | |
|----------|-------------|--|
| 14/05/06 | ジャカルタ・グローブ | インドネシア、石油サービス業への外国資本の出資を制限 |
| 14/04/29 | ビジネス・インドネシア | 2022年までに電化率 100%達成の見込み |
| 14/04/25 | ジャカルタ・グローブ | インドネシアのスマートフォン販売、税制計画により 50%減少の可能性 |
| 14/04/23 | Tempo.co | 政府が中小企業に代替エネルギー使用を促す |
| 14/04/15 | ジャカルタ・ポスト | 景気改善で輸出回復へ |
| 14/04/15 | ジャカルタ・ポスト | 外国投資家の関心は二次産業にシフト |

マレーシア

| | | |
|----------|-------|--|
| 14/04/24 | ザ・スター | 米国、マレーシアへの三大投資国のひとつに |
| 14/04/17 | エッジ | 3月の自動車販売、58,919台に増加 |
| 14/04/16 | エッジ | マレーシア投資開発庁、ハイテク産業への外国直接投資受入促進を続行 |
| 14/04/15 | ザ・スター | ガス価格高騰により、工業部門は代替エネルギーを模索 |
| 14/04/12 | ザ・スター | マレーシア石油貯蔵産業、飛躍へ |

ミャンマー

| | | |
|----------|------------|---------------------------------------|
| 14/04/28 | ミャンマー・タイムズ | インフレ問題が深刻化すると世界銀行は見る |
| 14/04/28 | ミャンマー・タイムズ | 先送りされてきた知的財産法の見直しが始まる |

フィリピン

| | | |
|----------|-----------|--|
| 14/04/29 | フィリピン・スター | 銀行の与信基準が厳しくなる |
| 14/04/24 | エッジ | 2015年のASEAN経済統合、フィリピンでは賛否両論 |
| 14/04/22 | フィリピン・スター | フィリピン建設業界、今後大きく成長する見通し |
| 14/04/13 | マニラ・プレティン | 「IT-BPOセクター減速の兆候なし」-DTSIグループ |

シンガポール

| | | |
|----------|-----------------------------|--|
| 14/04/25 | シンガポール・ビジネス・レビュー | 3月の工業生産高 12.1%増 |
| 14/04/24 | シンガポール・ビジネス・レビュー | シンガポールの対GDP比経常収支、過去3年間で暴落 |
| 14/04/22 | チャンネル・ニュース・アジア News Asia | テクノロジー新興企業支援に6千万シンガポールドルの基金 |
| 14/04/16 | チャンネル・ニュース・アジア | シンガポールの新興企業、クラウドソーシングで弾みをつけて始動 |

2014年 5月

ASEAN地域のニュース

タイ

| | | |
|----------|----------|---|
| 14/04/30 | ネーション | 景気低迷、「2015年になっても続く」 |
| 14/04/30 | ネーション | 政治的行き詰まりが続けば、輸出に打撃 |
| 14/04/24 | バンコク・ポスト | 景気後退で燃料消費が小幅減 |
| 14/04/24 | ネーション | 経済のためには機能する政府が必要：民間 |
| 14/04/18 | ネーション | 新会社登録件数9%減 |
| 14/04/17 | ネーション | タイ経済は「景気後退に近い」：K調査 |
| 14/04/17 | ネーション | 報告：タイ、フィリピン経済、日本の消費税引き上げの影響を受ける |
| 14/04/16 | バンコク・ポスト | 信用をめぐる問題 |

ベトナム

| | | |
|----------|--------------|---|
| 14/04/29 | トイチャー・ニュース | ベトナムの街角の商店、主役は外資 |
| 14/04/29 | バトム・フリーフラッグ | ベトナム・オンライン - ベトナムのEコマース市場を知る |
| 14/04/29 | ベトナム・ネット | ベトナムの公的債務が対GDP比100%近くまで増大の恐れ、専門家が警鐘 |
| 14/04/29 | ベトナム・ネット | 資本不足で300件近くの不動産プロジェクトが中止に |
| 14/04/28 | バトム・インフラ・ビュー | 工業特区、経済特区に巨額のFDI資本流入 |
| 14/04/26 | ベトナム・プラス | ハノイのスーパーの商品は80%がベトナム産 |
| 14/04/26 | ベトナム・ネット | FDIの呼び込みに厳しい審査 |
| 14/04/21 | ベトナム・ニュース | 消費の伸びで、ベトナムの鉄鋼輸入増加 |
| 14/04/17 | タンニエン・ニュース | ベトナムの建設業者、外資に追いつけ、追い越せの勢い |
| 14/04/16 | タンニエン・ニュース | 自動車メーカー、輸入業者、特別消費税をめぐり分裂 |
| 14/04/16 | ベトナム・ニュース | 外国投資家、製造業に注目 |

ご意見・ご感想

ASEANニュースレターに関する皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。[簡単なアンケート](#)へご回答いただくか、またはニュースレター・チーム (yoongs@dnb.com) まで直接メールをお送りください。

免責事項

本ニュースレターに掲載された情報は、現状のまま提供され、一切の保証を伴いません。いかなる場合もD&Bまたはその情報提供者は、提供した情報あるいはその利用に関して一切の責任を負いません。D&Bは、本ニュースレターにリンクされているウェブサイトやサービス、あるいはそこから得られる情報について、それを表明・保証・支持するものではありません。D&Bウェブサイト以外のサイトまたはそこから得られる情報へアクセスする場合、D&Bがそのサイトの内容や情報を管理できる立場にないこと、またコンピュータウィルスやその他破壊的な性質を持つプログラム等から、コンピュータシステムを守る責任は皆様自身にあることをご認識いただくようお願いいたします。